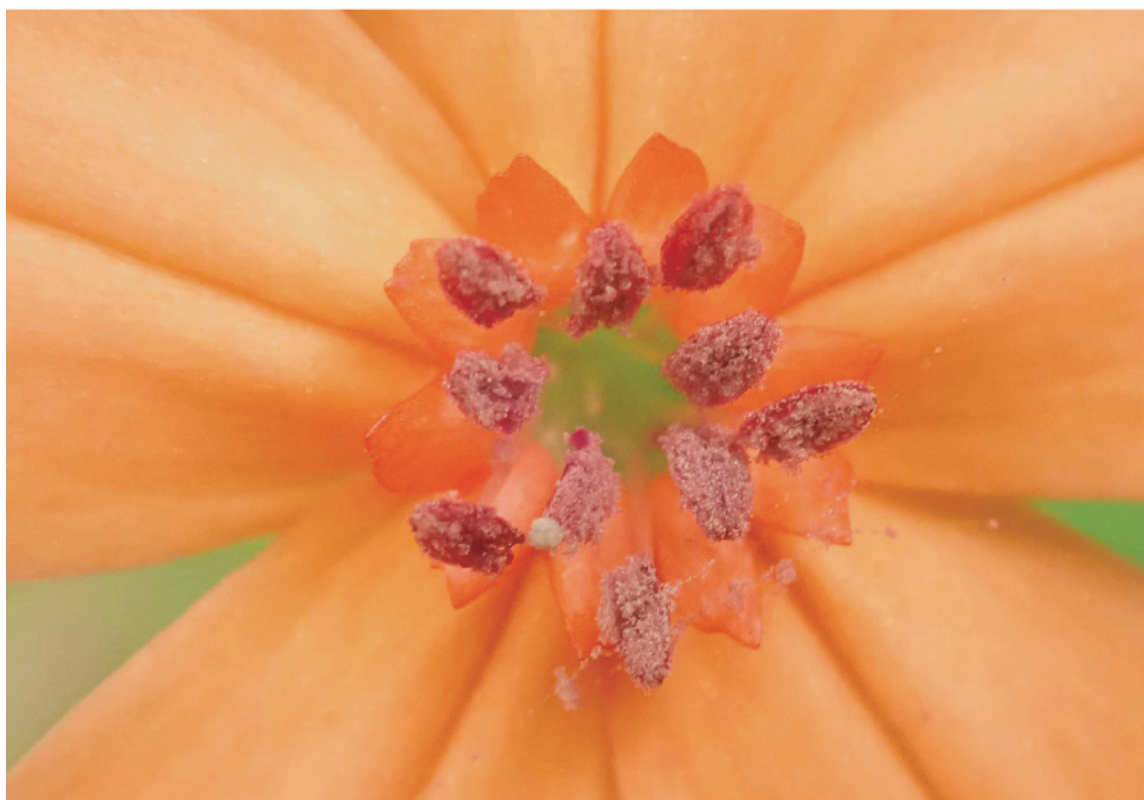


仙台市太白山自然観察の森 情報誌2025年8月号

森のおくりもの 8

NO.407 The Gift from Woods

フシグロセンノウ（ナデシコ科）



夏本番！7月に引き続き暑い時期、今後も気温が高い日が続く予報の中、暑さに負けずオレンジ色の花を咲かせる植物があります。雄しべが10個あり、葯（やく）の色は紫色、例年9月中旬頃まで花を楽しめるフシグロセンノウです。少し湿った場所を好むので、降水量が少ないこの夏の開花が心配ですが、頑張って花を咲かせてほしいものです。【館長：佐藤由美】

森のことは

自然の様子やできごとを四字熟語やことわざなどに当てはめ、森で感じた言葉をお届けします

『一切皆苦（いっさいかいく）』

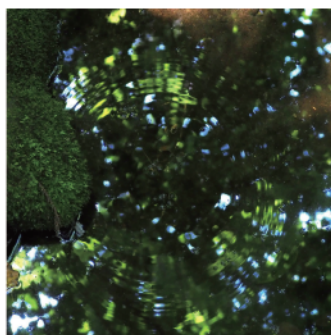
今年の東北南部の梅雨明けは、平年より6日早い7月18日で、8月1日の昨年と比べたら14日も早い梅雨明けとなりました。本来なら、ようやく梅雨が明けてこれからが夏本番という時期ですが、既に夏真っ盛りの気温で日々酷い暑さが続いています。梅雨明けが早いだけでなく空梅雨で、仙台では梅雨の期間に平年の3割しか雨が降っていないようです。この少雨と高温により森も乾燥していて、きのこの姿が少なく観察会では苦労しました。おたまじゃくしからカエルになったばかりの子ガエルも、ぐったりとしているように見えました。水は生命の源なので、これだけ雨が降らないとカラカラに乾いて、森の生きものたちの悲鳴が聞こえる気がします。

一方で、降るところでは道路が冠水したり床上浸水したりするほどの豪雨になった地域もあります。洪水の被害が出るほどは要らないので、全国各地にバランスよく、ちょうどいい量で降ってくれたらいいのにと 생각합니다。この水不足は深刻で、水源地や田畑への影響が心配されます。この先大量の雨が期待できるとしたら台風によるものがありますが、それも被害が出ると困ります。

なかなか都合よく思うようにはならないものだと感じ、そのようなことに当てはまる言葉を探したら「一切皆苦」という言葉がありました。「世の中のすべては苦しみである」という仏教の言葉で、苦しみとは思いつりにならないことで「この世のすべてのことは思いつりにならない」という意味です。

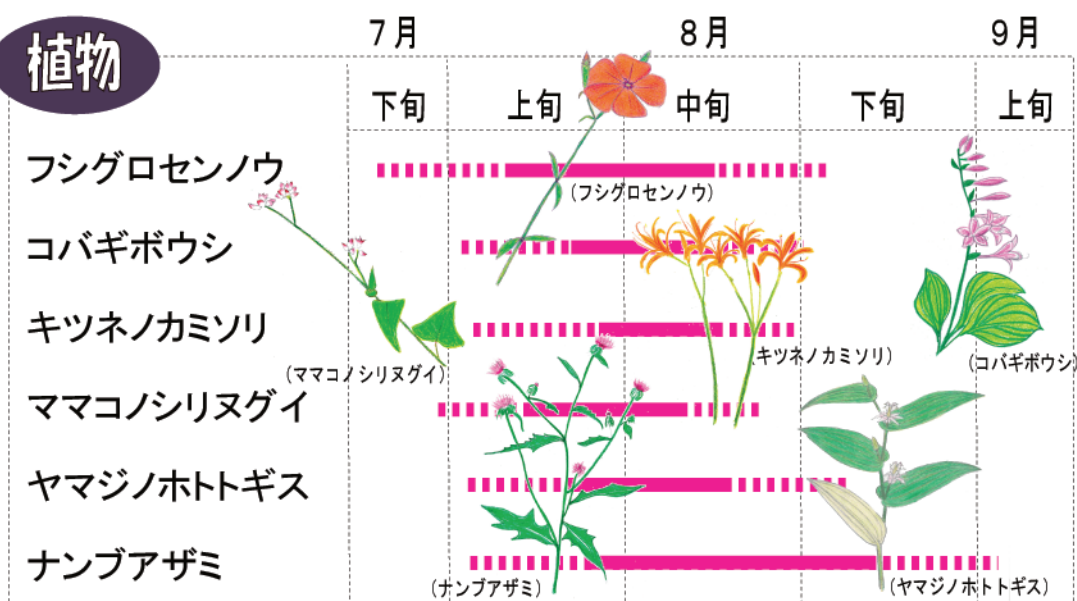
これらの問題は、温暖化による気候変動が原因で、人類が何でも思いつりになろうと開発してきた付けが回ってきたのでしょう。どんなに文明が発達しても思いつりにならないことがたくさんあります。危険な暑さに見舞われて、自然の偉大さとありがたさを改めて感じました。仙台でも最高気温が40℃になる日もそう遠くはないかもしれません。これ以上暑くなったら生きていけないので、何とかしなければと考えさせられます。

【レンジャー：新田隆一】



8月の生物ごよみ

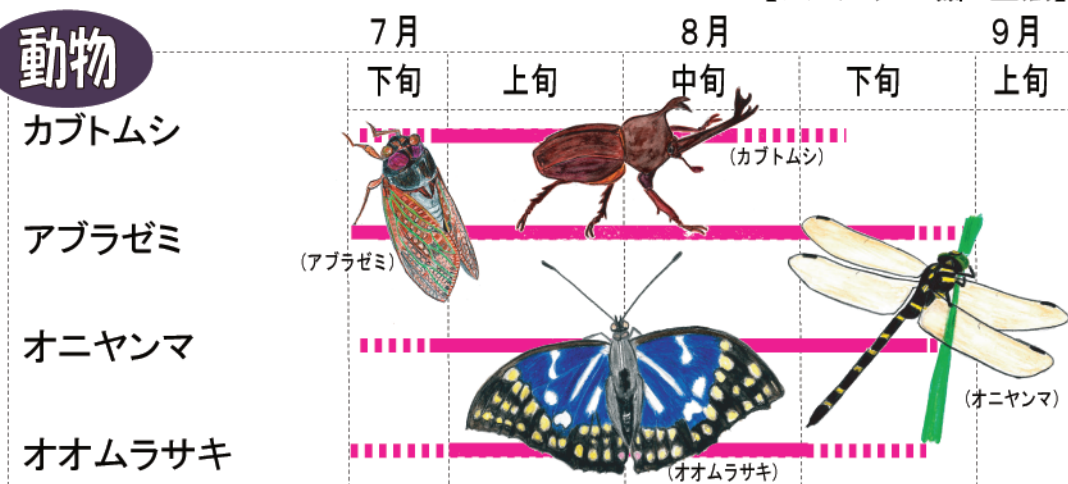
植物



昨年の夏からこの時期に『樹液に集まる昆虫たち』と題してカブトムシやクワガタムシの生体展示を始めました。昨年展示したカブトムシがたくさん卵を産み、それを120cm水槽に展示しています。ただ展示室にはエアコンがないためすごく暑くなりそれを冷やすためにペットボトルを凍らせて飼育ケースに入れたり扇風機で風を送ったりと大変です。暑い夏に発生するカブトムシなどは意外とこの暑さに弱いのです。炎天下のなかだとすぐ弱ってしまいます。温暖化によって私たちの生活も大変ですが虫たちも結構大変なのかもしれません。展示は9月中旬までやっていますのでこの機会に是非、足をお運びください。

【レンジャー：齋 正宏】

動物



森の「あれこれ」



「いきものたちの暑さ対策」

まだまだ暑い日が続いています。森のいきものたちはこの暑さの中、どうやって過ごしているのでしょうか？



上の2枚の写真はハシブトガラス、左が観察の森の駐車場付近、右はセンター近くの個体、どちらも口があきっぱなしです。

汗をかいて体温を下げる人間と違い、汗をかかない野鳥は口をあけ呼吸する事で体温を下げます。多くの鳥がそうやって体温調整します。大きくてよく目立つカラスの仲間が観察しやすいです。そういえば汗

かきが苦手な犬もハアハアして体温をさげてますね。

左の2枚はニホンリス。上の写真はセンター近くの高木の横枝にべったり体をくっつけています。最初は隠れているかと思いましたが、リスは体を冷やすため体温より低い地面や樹木におなかをつけたりする事があります。数分くらいで体を起こし、写真のようによく見る格好でクルミを食べはじめました。

昨年と比べリスを確認した回数が少なく気がかりで、暑い日も心配もまだ続きそうです。

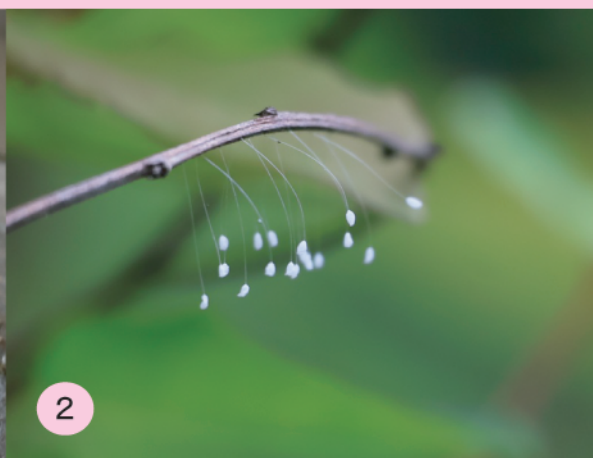
【レンジャー：木田秀幸】



森は生きている



1

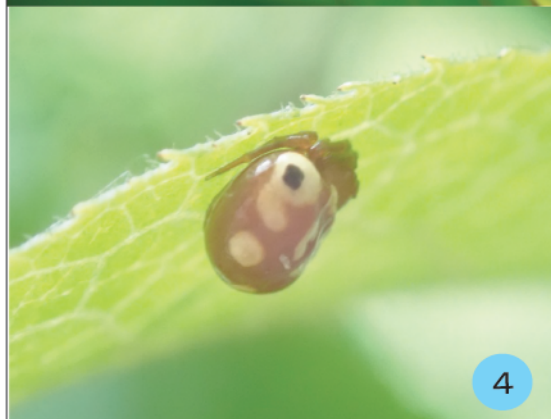


2



3

① 鮮やかな瑠璃色が美しいルリボシカミキリです。② 昔の人が独特の形状を見て仏教で三千年に一度咲く伝説の花、優曇華と呼んでましたが、クサカゲロウという虫の卵です。③ ヒメカマキリモドキ、カマキリではなくアミメカゲロウの仲間です。④ テントウムシに擬態してますアカイトトリノフンダマシ、クモの仲間です。⑤ 最初は鳥の羽根かと思いましたが、シロテクロマイコガ、蛾の仲間です。



4



5

毎年、だんだん暑さが厳しくなってきたように感じます、私も健康管理に注意してますが、体調を崩したりしてます、普段の行動や食事にも気を配らなければなと自覚するのですが、大変なのは人間だけでなく、森の生き物たちも大変ではないかを感じる今日この頃です。

【レンジャー：菅井 潤】

イベント & お知らせ

◆『はじめての親子生き物観察』

- ・ 9月13日(土) 10:00 ~ 11:30 小学生以上の子どもと保護者 20名
- 【内 容】散策路を歩きながら生きものの生態を観察します
- 【申込み】Eメールにて8月31日(日) 必着で(抽選)

◆『森のアート感さつ会「カメラで楽しむ自然のアート」』

- ・ 9月27日(土) 10:00 ~ 14:30
- 【内 容】ミラーレス一眼デジタルカメラの特性を活かして自然のアートを撮影します
- 【対 象】ミラーレス一眼デジタルカメラを持っている小学3年生以上の方 10名
- 【申込み】Eメールにて9月17日(水) 必着で(抽選)

◆『親子むしむし探偵団(秋の虫編)』

- ・ 10月4日(土) 10:00 ~ 12:00 小学生以上の子どもと保護者 10名
- 【内 容】散策路を歩きながら昆虫や小さな生きものを探し、特徴を観察します
- 【申込み】Eメールにて9月20日(土) 必着で(抽選)

※申込み専用メールアドレス taihaku@sendai-park.or.jp 詳しくはQRコードを読み取り



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



毎週
日曜は

『ガイドウォーク』の日!

開催日: 3日, 10日, 17日, 24日, 31日

開催時間: 10:00~11:30

※時間までにセンター前へお集まりください

申し込み不要。飲み物、かつぱ、歩きやすい服装と靴で。

8月の休館日

4日、12日、18日

25日

※月曜日が祝祭日の場合、
翌日以降の平日が休館



宮城交通バスの場合

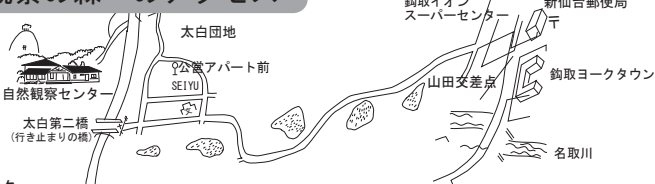
- ① 仙台駅 乗車時間 約40分
 - ② 長町駅東口 乗車時間 約30分
 - ③ 八木山動物公園駅 乗車時間 約10分
- 【行先】①②③ 「太白団地經由山田自由ヶ丘車庫行」乗車
(※③のみ乗車可「太白団地、山田自由ヶ丘經由仙台南ニュータウン行」)
いずれも 公営アパート前 下車→徒歩15分



お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター

観察の森へのアクセス



自然観察の森の最新情報、
「森のおくりもの」バックナンバーは
Webで!

2025年 8月号

発行: (公財) 仙台市公園緑地協会

編集: 仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター

〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

TEL: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

「仙台市公園緑地協会」URL: <https://sendai-green-association-jp/green/taihakusan/>